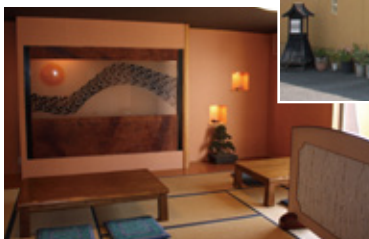


大川の活性化に役立ちたい

懐石割烹料理 福喜

代表 福湯英雄さん



「タクシーの電話番号を教えてもらっていいですか？」

「家はどちらですか？」

「柳川駅付近です。」

「では、お送りしますよ。」

これは、筆者が「福喜」さんから帰宅しようしていた際の出来事。親切にも柳川駅まで送っていただいた。

福喜の特色は、徹底した顧客サービス。筋金が入っている。こうした送迎もその一つ。もちろん一〇〇%ではないが、従業員の手が空いているかぎり行う。

徹底した顧客本位の姿勢がリピーターを生み、不況下にあっても収益を伸ばしている。

取材当日、大野城市から七十名の団体客があった。すべて年配の女性グループ。ただ、予算が一二〇〇円。「せっかく遠方からいらっしやるのですから、できる限りのことをしたいと思いました。」

お客からは「こんなごちそうをいただいているいいんですか！」と感嘆の声が上がった。そして次の訪問に向けて、「また、お願いしますね。」と笑顔で言ってくれたさつたさうだ。

元々これらの団体客が訪れ

